



## FirePOWER デバイスの所要電力

この項では、ここでは、FirePOWER デバイスの所要電力および関連情報について説明します。

- 「警告と注意」 (P.A-1)
- 「70xx ファミリのアプライアンス」 (P.A-2)
- 「71xx ファミリのアプライアンス」 (P.A-3)
- 「81xx ファミリのアプライアンス」 (P.A-5)
- 「82xx ファミリのアプライアンス」 (P.A-10)
- 「83xx ファミリのアプライアンス」 (P.A-14)



(注)

ASA FirePOWER デバイスの所要電力について詳しくは、ASA のマニュアルを参照してください。

## 警告と注意

このドキュメントには、警告と注意の両方が含まれています。警告は、安全に関するものです。警告に従わないと、けがや機器の損傷が生じる可能性があります。注意は、正常に機能するための要件です。注意に従わないと、正常に機能しないことがあります。



注意

機器またはサブアセンブリの屋内ポートは、建物内配線や露出配線、またはケーブル配線だけの接続に適しています。建物内部の装置ポートまたはサブアセンブリは工場外設備 (OSP) またはその配線に接続しているインターフェイスに金属的に接続しないでください。これらのインターフェイスは、屋内インターフェイス専用 (GR-1089-CORE Issue 4 に記載されたタイプ 2 ポートまたはタイプ 4 ポート) に設計されており、屋外用の OSP ケーブルと区別する必要があります。これらのインターフェイスを金属的に OSP 配線と接続する場合、プライマリ プロテクタを追加するだけでは、十分に保護されません。

## 静電気制御



注意

接地されたリストストラップや静電放電作業台の使用などの静電放電の制御手順は、アプライアンスを開梱、インストール、または移動する前に実施されている必要があります。過剰な静電放電により、アプライアンスが損傷したり、意図しない処理が発生したりする可能性があります。

## 70xx ファミリのアプライアンス

この項では、以下のシスコ デバイスの所要電力について説明します。

- 3D7010、3D7020、および 3D7030 (CHRY-1U-AC)

これらのシスコ デバイスは、National Electric Code が適用されるネットワーク通信施設や地域で専門の担当者が設置するのに適しています。各デバイスは AC アプライアンスとしてのみ使用可能であることに注意してください。

シスコは、返品が必要となる場合に備えて梱包材を保管しておくことをお勧めします。

詳細については、次の項を参照してください。

- 回路の設置、電圧、電流、周波数範囲、および電源コードについては、「[設置 \(P.A-2\)](#)」を参照してください。
- ボンディング箇所、推奨端子、およびアース線の要件については、「[接地の要件 \(P.A-3\)](#)」を参照してください。

## 設置

FireSIGHT システムのアプライアンスは、NFPA 70 の 250 条、National Electric Code (NEC) ハンドブック、および地域の電気規格の要件に従って設置する必要があります。

アプライアンスは、単一の電源装置を使用します。FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所に、外部電力サージ保護デバイスを使用する必要があります。

電源回路の定格は、アプライアンス全体の定格に対応している必要があります。

## 電圧

電源は、公称電圧 100 VAC から 240 VAC (最大電圧 90 VAC から 264 VAC) に対応しています。この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## 電流

表示された定格電流は全範囲で最大 2 A です。出火の危険を小さくするために、適切な導線とブレーカーを使用する必要があります。

## 周波数範囲

AC 電源の周波数範囲は 47 Hz から 63 Hz です。この範囲外の周波数では、アプライアンスが動作しないか、不適正に動作する可能性があります。

## 電源コード

電源装置の電源接続は IEC C14 コネクタで、IEC C13 コネクタを接続できます。UL 認定電源コードを使用する必要があります。最小ワイヤ ゲージは 16 AWG です。アプライアンスに付属のコードは 16 AWG の NEMA 515P プラグ付きの UL 認定コードです。他の電源コードについては、工場にお問い合わせください。



(注) 電源のコードは切断しないでください。

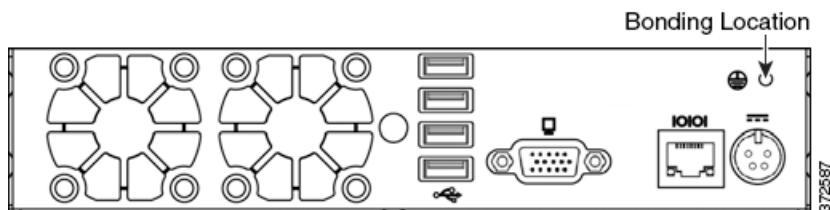
## 接地の要件

アプライアンスは、共通ボンディング網に接地する必要があります。

### ボンディング箇所

接地のボンディング箇所は、シャーシの背面にあります。M4 スタッドが備わっています。リング端子を接続するために、外向き歯付きのロック ワッシャが備わっています。各スタッドの横に標準の接地記号があります。

次の図は、シャーシ上のボンディング箇所を示しています。



### 推奨端子

アース接続のためには、UL 認定端子を使用する必要があります。#6 (M3.5) スタッド用のクリアランスホール付きリング端子を使用できます。16 AWG 線には、AMP/Tyco 36151 が推奨されます。これは、#6 スタッド用の穴付き UL 認定リング端子です。

### アース線の要件

アース線は、単一故障が生じた場合に回路電流を十分に処理できるサイズであることが必要です。アース線のサイズは、回路を保護するために使用されるブレーカーの電流と同じにします。「電流」(P.A-2) を参照してください。

露出した導体は、圧着接続を行う前に、腐食防止剤でコーティングする必要があります。接地のために使用できるのは銅線のケーブルだけです。

## 71xx ファミリのアプライアンス

この項では、以下のシスコ デバイスの所要電力について説明します。

- 3D7110 および 3D7120 (GERY-1U-8-AC)
- 3D7115 および 3D7125 (GERY-1U-4C8S-AC)

これらのシスコ デバイスは、National Electric Code が適用されるネットワーク通信施設や地域で専門の担当者が設置するのに適しています。各デバイスは AC アプライアンスとしてのみ使用可能であることに注意してください。

シスコは、返品が必要となる場合に備えて梱包材を保管しておくことをお勧めします。

詳細については、次の項を参照してください。

- 回路の設置、電圧、電流、周波数範囲、および電源コードについては、「[設置 \(P.A-4\)](#)」を参照してください。
- ボンディング箇所、推奨端子、およびアース線の要件については、「[接地の要件 \(P.A-5\)](#)」を参照してください。

## 設置

FireSIGHT システムは、NFPA 70 の 250 条、National Electric Code (NEC) ハンドブック、および地域の電気規格の要件に従って設置する必要があります。

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

### 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の 220 V 回路に接続しています。ラベルに記載されているように、各回路には 5 A を供給できることが必要です。

### 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1 つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ 220 V 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおりの 5 A です。

## 電圧

電源装置は次の電圧に対応しています: 公称 100 VAC から 240 VAC (最大 85 VAC から 264 VAC)。この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## 電流

ラベルに示された各電源装置の定格電流は、範囲全体では装置あたり最大 10 A、187 VAC から 264 VAC では装置あたり最大 5 A です。出火の危険を小さくするために、適切な導線とブレーカーを使用する必要があります。

## 周波数範囲

AC 電源の周波数範囲は 47 Hz から 63 Hz です。この範囲外の周波数では、アプライアンスが動作しないか、不適正に動作する可能性があります。

## 電源コード

電源装置の電源接続は IEC C14 コネクタで、IEC C13 コネクタを接続できます。UL 認定電源コードを使用する必要があります。最小ワイヤゲージは 16 AWG です。アプライアンスに付属のコードは 16 AWG の NEMA 515P プラグ付きの UL 認定コードです。他の電源コードについては、工場にお問い合わせください。

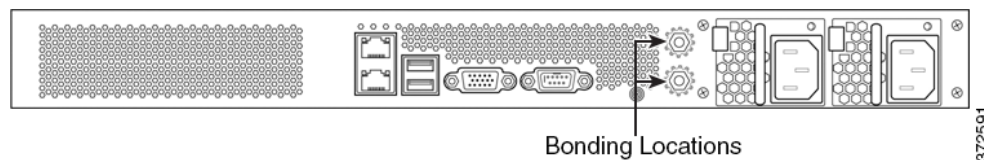
## 接地の要件

FireSIGHT システムは、共通ボンディング網に接地する必要があります。

### ボンディング箇所

接地のボンディング箇所は、シャーシの背面にあります。M4 スタッドが備わっています。リング端子を接続するために、外向き歯付きのロックワッシャが備わっています。各スタッドの横に標準の接地記号があります。

次の図は、シャーシ上のボンディング箇所を示しています。



### 推奨端子

アース接続には UL 認定端子を使用する必要があります。4 mm または #8 スタッド用のクリアランスホール付きリング端子を使用できます。10-12 AWG 線には、Tyco 34853 が推奨されます。これは、#8 スタッド用の穴付き UL 認定リング端子です。

### アース線の要件

アース線は、単一故障が生じた場合に回路電流を十分に処理できるサイズであることが必要です。アース線のサイズは、回路を保護するために使用されるブレーカーの電流と同じにします。「電流」(P.A-4) を参照してください。

露出した導体は、圧着接続を行う前に、腐食防止剤でコーティングする必要があります。接地のために使用できるのは銅線のケーブルだけです。

## 81xx ファミリのアプライアンス

この項では、以下のシスコ デバイスの所要電力について説明します。

- 3D8120、3D8130、および 3D8140 (CHAS-1U-AC、CHAS-1U-DC、または CHAS-1U-AC/DC)

これらのシスコ デバイスは、National Electric Code が適用されるネットワーク通信施設や地域で専門の担当者が設置するのに適しています。

シスコは、返品が必要となる場合に備えて梱包材を保管しておくことをお勧めします。

詳細については、次の項を参照してください。

- 回路の設置、電圧、電流、周波数範囲、および電源コードについて詳しくは、「AC の設置」(P.A-6) を参照してください。
- 回路の設置、電圧、電流、接地基準、端子、ブレーカー要件、および配線の最小サイズについて詳しくは、「DC の設置」(P.A-7) を参照してください。
- ボンディング箇所、推奨端子、アース線の要件、および DC 電源について詳しくは、「接地の要件」(P.A-9) を参照してください。

## AC の設置

FireSIGHT システムは、NFPA 70 の 250 条、National Electric Code (NEC) ハンドブック、および地域の電気規格の要件に従って設置する必要があります。



注意

---

AC 電源に DC 電力を接続しないでください。

---

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

## 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の 220 V 回路に接続しています。ラベルに記載されているように、各回路には 5 A を供給できることが必要です。

## 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1 つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ 220 V 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおり 5 A です。

## AC 電圧

電源装置は次の電圧に対応しています: 公称 100 VAC から 240 VAC (最大 85 VAC から 264 VAC)。この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## AC 電流

ラベルに示された各電源装置の定格電流は、範囲全体では装置あたり最大 5.2 A、187 VAC から 264 VAC では装置あたり最大 2.6A です。出火の危険を小さくするために、適切な導線とブレーカーを使用する必要があります。

## 周波数範囲

AC 電源の周波数範囲は 47 Hz から 63 Hz です。この範囲外の周波数では、アプライアンスが動作しないか、不適正に動作する可能性があります。

## 電源コード

電源装置の電源接続は IEC C14 コネクタで、IEC C13 コネクタを接続できます。UL 認定電源コードを使用する必要があります。最小ワイヤゲージは 16 AWG です。アプライアンスに付属のコードは 16 AWG の NEMA 515P プラグ付きの UL 認定コードです。他の電源コードについては、工場にお問い合わせください。

## DC の設置

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。



注意

DC 電源に AC 電力を接続しないでください。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

## 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の-48 VDC 回路に接続されています。ラベルに記載されているように、各回路には 20 A を供給できることが必要です。

## 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ -48 VDC 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおり 20 A です。



注意

この最適化を使用するには、電源コードの定格が各電源装置の全体の定格に対応している必要があります。

## DC 電圧

電源装置は、以下の電圧に対応しています。

- RTN を基準として公称 -48 V。
- -40 VDC から最大 -72 VDC

この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## DC 電流

装置あたり最大 11 A。

## 接地基準

DC 電源装置は、接地基準から完全に分離されます。

## 推奨端子

電源はネジ端子によって DC 電源に接続されます。端子は UL 認定のものであることが必要です。端子には M4 (#8) ネジに対応した穴が必要です。端子の最大幅は 8.1 mm (0.320 インチ) です。10 - 12 ゲージの導線用の代表的なスペード端子は Tyco 325197 です。

## ブレーカー要件

定格電圧で定格電流を流せる容量のブレーカーを設置する必要があります。回路ブレーカーは次の要件を満たす必要があります。

- UL 認定品
- CSA 認定 (推奨)
- VDE 認定 (推奨)
- 最大負荷 (20 A) のサポート
- 設置電圧 (電源装置の要件に応じて -40 V から -72 VDC) のサポート
- DC 使用に適した定格

推奨されるブレーカーは、Airpax IELK1-1-72-20.0-01-V です。使用される端子オプションは設置環境によって異なります。このブレーカーは、DC 定格が 80 V の単極 20 A ブレーカーです。これは長遅延型としてリストされています。このブレーカーについて詳しくは、<http://www.airpax.net/site/utilities/eliterature/pdfs/ial.pdf> を参照してください。

## 配線サイズの最小要件

レースウェイあたり 3 本の導線 (1 回路) がある電源フィードは、12 AWG 線を使用できます。レースウェイあたり複数の回路がある電源フィードは、10 AWG 線を使用する必要があります。冗長電源装置用の 2 つの異なるフィードは 2 つの回路であり、10 AWG 線を使用する必要がありますことに注意してください。



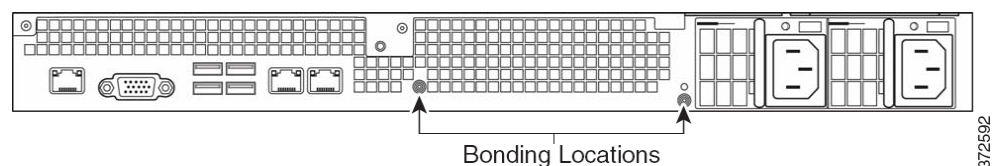
## 接地の要件

FireSIGHT システムは、共通ボンディング網に接地する必要があります。

### ボンディング箇所

接地のボンディング箇所は、シャーシの背面にあります。M4 スタッドが備わっています。リング端子を接続するために、外向き歯付きのロック ワッシャが備わっています。各スタッドの横に標準の接地記号があります。

次の図は、1 U シャーシ上のボンディング箇所を示しています。



### 推奨端子

アース接続には UL 認定端子を使用する必要があります。4 mm または #8 スタッド用のクリアランスホール付きリング端子を使用できます。10-12 AWG 線には、Tyco 34853 が推奨されます。これは、#8 スタッド用の穴付き UL 認定リング端子です。

### アース線の要件

アース線は、単一故障が生じた場合に回路電流を十分に処理できるサイズであることが必要です。アース線のサイズは、回路を保護するために使用されるブレーカーの電流と同じにします。AC 回路については、「AC 電流」(P.A-6) を参照してください。DC 回路については、「DC 電流」(P.A-8) を参照してください。

露出した導体は、圧着接続を行う前に、腐食防止剤でコーティングする必要があります。接地のために使用できるのは銅線のケーブルだけです。

### DC 電源装置

DC 電源装置には、電源ごとの追加のアース接続があります。これにより、ホットスワップ可能な電源装置を電力、リターン、およびアースに接続して、安全に挿入できるようにします。アース ラグを接続する必要があります。

これは外向き歯付きのロック ワッシャがある M4 ネジです。

アース線は、回路ブレーカーに適合するサイズにする必要があります。

## 82xx ファミリのアプライアンス

この項では、以下のシスコ デバイスの所要電力について説明します。

- 3D8250、3D8260、3D8270、および 3D8290 (CHAS-2U-AC、CHAS-2U-DC、または CHAS-2U-AC/DC)

これらのシスコ デバイスは、National Electric Code が適用されるネットワーク通信施設や地域で専門の担当者が設置するのに適しています。

シスコは、返品が必要となる場合に備えて梱包材を保管しておくことをお勧めします。

詳細については、次の項を参照してください。

- 回路の設置、電圧、電流、周波数範囲、および電源コードについては、「AC の設置」(P.A-10) を参照してください。
- 回路の設置、電圧、電流、接地基準、端子、ブレーカー要件、および配線の最小サイズについては、「DC の設置」(P.A-11) を参照してください。
- ボンディング箇所、推奨端子、アース線の要件、および DC 電源については、「接地の要件」(P.A-13) を参照してください。

## AC の設置

FireSIGHT システムは、NFPA 70 の 250 条、National Electric Code (NEC) ハンドブック、および地域の電気規格の要件に従って設置する必要があります。



注意

AC 電源に DC 電力を接続しないでください。

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

## 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の 220 V 回路に接続しています。ラベルに記載されているように、各回路には 5 A を供給できることが必要です。

## 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1 つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ 220 V 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおり 5 A です。

## AC 電圧

電源装置は次の電圧に対応しています: 公称 100 VAC から 240 VAC (最大 85 VAC から 264 VAC)。この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## AC 電流

ラベルに示された各電源装置の定格電流は、範囲全体では装置あたり最大 8 A、187 VAC から 264 VAC では装置あたり最大 4A です。出火の危険を小さくするために、適切な導線とブレーカーを使用する必要があります。

## 周波数範囲

AC 電源の周波数範囲は 47 Hz から 63 Hz です。この範囲外の周波数では、アプライアンスが動作しないか、不適正に動作する可能性があります。

## 電源コード

電源装置の電源接続は IEC C14 コネクタで、IEC C13 コネクタを接続できます。UL 認定電源コードを使用する必要があります。最小ワイヤゲージは 16 AWG です。アプライアンスに付属のコードは 16 AWG の NEMA 515P プラグ付きの UL 認定コードです。他の電源コードについては、工場にお問い合わせください。

## DC の設置

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。



注意

DC 電源に AC 電力を接続しないでください。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

## 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の -48 VDC 回路に接続されています。ラベルに記載されているように、各回路には 20 A を供給できることが必要です。

## 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ -48 VDC 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおり 20 A です。



注意

この最適化を使用するには、電源コードの定格が各電源装置の全体の定格に対応している必要があります。

## DC 電圧

電源装置は、以下の電圧に対応しています。

- RTN を基準として公称 -48 V。
- -40 VDC から最大 -72 VDC

この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## DC 電流

装置あたり最大 18 A。

## 接地基準

DC 電源装置は、接地基準から完全に分離されます。

## 推奨端子

電源はネジ端子によって DC 電源に接続されます。端子は UL 認定のものであることが必要です。端子には M4 (#8) ネジに対応した穴が必要です。端子の最大幅は 8.1 mm (0.320 インチ) です。10 - 12 ゲージの導線用の代表的なスペード端子は Tyco 325197 です。

## ブレーカー要件

定格電圧で定格電流を流せる容量のブレーカーを設置する必要があります。回路ブレーカーは次の要件を満たす必要があります。

- UL 認定品
- CSA 認定 (推奨)
- VDE 認定 (推奨)
- 最大負荷 (20 A) のサポート
- 設置電圧 (電源装置の要件に応じて -40 V から -72 VDC) のサポート
- DC 使用に適した定格

推奨されるブレーカーは、Airpax IELK1-1-72-20.0-01-V です。使用される端子オプションは設置環境によって異なります。このブレーカーは、DC 定格が 80 V の単極 20 A ブレーカーです。これは長遅延型としてリストされています。このブレーカーについて詳しくは、<http://www.airpax.net/site/utilities/eliterature/pdfs/ial.pdf> を参照してください。

## 配線サイズの最小要件

レースウェイあたり 3 本の導線（1 回路）がある電源フィードは、12 AWG 線を使用できます。レースウェイあたり複数の回路がある電源フィードは、10 AWG 線を使用する必要があります。冗長電源装置用の 2 つの異なるフィードは 2 つの回路であり、10 AWG 線を使用する必要がありますことに注意してください。

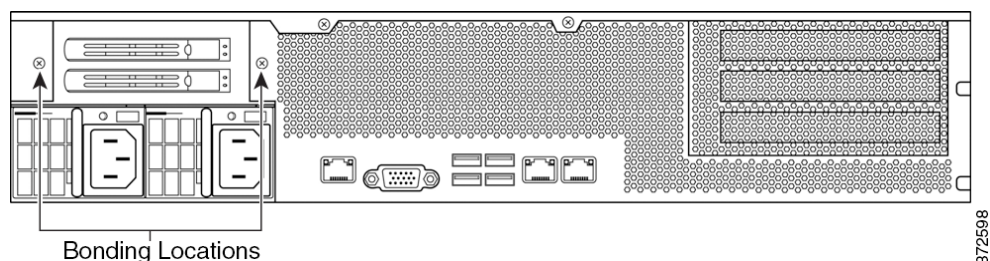
## 接地の要件

FireSIGHT システムは、共通ボンディング網に接地する必要があります。

### ボンディング箇所

接地のボンディング箇所は、シャーシの背面にあります。M4 スタッドが備わっています。リング端子を接続するために、外向き歯付きのロック ワッシャが備わっています。各スタッドの横に標準の接地記号があります。

次の図は、2 U シャーシ上の接合箇所を示しています。



### 推奨端子

アース接続には UL 認定端子を使用する必要があります。4 mm または #8 スタッド用のクリアランスホール付きリング端子を使用できます。10-12 AWG 線には、Tyco 34853 が推奨されます。これは、#8 スタッド用の穴付き UL 認定リング端子です。

### アース線の要件

アース線は、単一故障が生じた場合に回路電流を十分に処理できるサイズであることが必要です。アース線のサイズは、回路を保護するために使用されるブレーカーの電流と同じにします。AC 回路については、「AC 電流」(P.A-6) を参照してください。DC 回路については、「DC 電流」(P.A-8) を参照してください。

露出した導体は、圧着接続を行う前に、腐食防止剤でコーティングする必要があります。接地のために使用できるのは銅線のケーブルだけです。

### DC 電源装置

DC 電源装置には、電源ごとの追加のアース接続があります。これにより、ホットスワップ可能な電源装置を電力、リターン、およびアースに接続して、安全に挿入できるようにします。アース ラグを接続する必要があります。

これは外向き歯付きのロック ワッシャがある M4 ネジです。

アース線は、回路ブレーカーに適合するサイズにする必要があります。

## 83xx ファミリのアプライアンス

この項では、以下のシスコ デバイスの所要電力について説明します。

- 3D8350、3D8360、3D8370、および 3D8390 (PG35-2U-AC/DC)

これらのシスコ デバイスは、National Electric Code が適用されるネットワーク通信施設や地域で専門の担当者が設置するのに適しています。

シスコは、返品が必要となる場合に備えて梱包材を保管しておくことをお勧めします。

詳細については、次の項を参照してください。

- 回路の設置、電圧、電流、周波数範囲、および電源コードについては、「[AC の設置](#)」(P.A-14)を参照してください。
- 回路の設置、電圧、電流、接地基準、端子、ブレーカー要件、および配線の最小サイズについては、「[DC の設置](#)」(P.A-15)を参照してください。
- ボンディング箇所、推奨端子、アース線の要件、および DC 電源については、「[接地の要件](#)」(P.A-17)を参照してください。

## AC の設置

FireSIGHT システムは、NFPA 70 の 250 条、National Electric Code (NEC) ハンドブック、および地域の電気規格の要件に従って設置する必要があります。



注意

---

AC 電源に DC 電力を接続しないでください。

---

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

## 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の 220 V 回路に接続しています。ラベルに記載されているように、各回路には 10 A を供給できることが必要です。

## 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1 つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ 220 V 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおり 10 A です。

## AC 電圧

電源装置は次の電圧に対応しています: 公称 100 VAC から 240 VAC (最大 85 VAC から 264 VAC)。この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## AC 電流

ラベルに示された各電源装置の定格電流は、範囲全体では装置あたり最大 11 A、187 VAC から 264 VAC では装置あたり最大 5.5 A です。出火の危険を小さくするために、適切な導線とブレーカーを使用する必要があります。

## 周波数範囲

AC 電源の周波数範囲は 47 Hz から 63 Hz です。この範囲外の周波数では、アプライアンスが動作しないか、不適正に動作する可能性があります。

## 電源コード

電源装置の電源接続は IEC C14 コネクタで、IEC C13 コネクタを接続できます。UL 認定電源コードを使用する必要があります。最小ワイヤゲージは 16 AWG です。アプライアンスに付属のコードは 16 AWG の NEMA 515P プラグ付きの UL 認定コードです。他の電源コードについては、工場にお問い合わせください。

## DC の設置

冗長電源を作成するためには、別の回路が必要です。電源状態の問題や入力ラインの電力異常による電力損失を防ぐために、無停電電源またはバッテリー保護電源を使用します。



注意

DC 電源に AC 電力を接続しないでください。

アプライアンス全体を稼働させるために十分な電力を、各電源に供給します。各電源の電圧と電流の定格は、アプライアンスのラベルに記載されています。

FireSIGHT システムを設置するネットワーク機器の入力場所には、外部電力サージ保護デバイスを使用します。

## 別個の回路の設置

複数の異なる回路を使用する場合は、それぞれの回路の定格がアプライアンス全体の定格に対応している必要があります。この設定により、回路の障害と電源の障害から保護されます。

**例:** 各電源が別々の -48 VDC 回路に接続されています。ラベルに記載されているように、各回路には 25 A を供給できることが必要です。

## 同じ回路の設置

同じ回路を使用して両方の電力を供給する場合、1つの電源装置の電力定格がボックス全体に適用されます。この設定では、電源の障害からのみ保護されます。

**例:** どちらの電源装置も同じ -48 VDC 回路に接続されています。この回路から得られる最大電流は、ラベルに示されているとおり 25 A です。



注意

この最適化を使用するには、電源コードの定格が各電源装置の全体の定格に対応している必要があります。

## DC 電圧

電源装置は、以下の電圧に対応しています。

- RTN を基準として公称 -48 V。
- -40 VDC から最大 -72 VDC

この範囲外の電圧を使用すると、アプライアンスが損傷することがあります。

## DC 電流

装置あたり最大 25 A。

## 接地基準

DC 電源装置は、接地基準から完全に分離されます。

## 推奨端子

電源はネジ端子によって DC 電源に接続されます。端子は UL 認定のものであることが必要です。端子には M4 (#8) ネジに対応した穴が必要です。端子の最大幅は 8.1 mm (0.320 インチ) です。10 - 12 ゲージの導線用の代表的なスペード端子は Tyco 325197 です。

## ブレーカー要件

定格電圧で定格電流を流せる容量のブレーカーを設置する必要があります。回路ブレーカーは次の要件を満たす必要があります。

- UL 認定品
- CSA 認定 (推奨)
- VDE 認定 (推奨)
- 最大負荷 (20 A) のサポート
- 設置電圧 (電源装置の要件に応じて -40 V から -72 VDC) のサポート
- DC 使用に適した定格

推奨されるブレーカーは、Airpax IELK1-1-72-20.0-01-V です。使用される端子オプションは設置環境によって異なります。このブレーカーは、DC 定格が 80 V の単極 20 A ブレーカーです。これは長遅延型としてリストされています。このブレーカーについて詳しくは、<http://www.airpax.net/site/utilities/eliterature/pdfs/ial.pdf> を参照してください。



## 配線サイズの最小要件

レースウェイあたり 3 本の導線（1 回路）がある電源フィードは、12 AWG 線を使用できます。レースウェイあたり複数の回路がある電源フィードは、10 AWG 線を使用する必要があります。冗長電源装置用の 2 つの異なるフィードは 2 つの回路であり、10 AWG 線を使用する必要がありますことに注意してください。

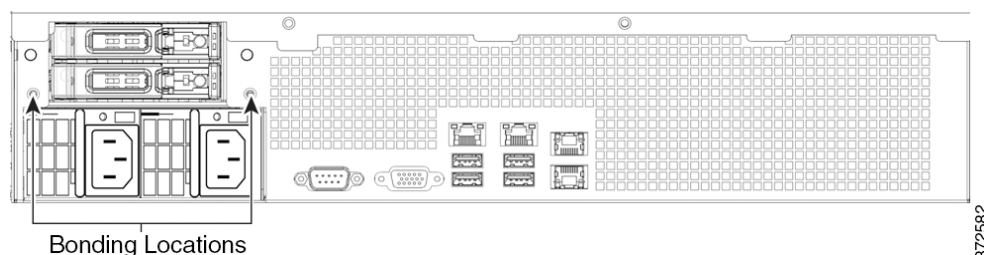
## 接地の要件

FireSIGHT システムは、共通ボンディング網に接地する必要があります。

### ボンディング箇所

接地のボンディング箇所は、シャーシの背面にあります。M4 スタッドが備わっています。リング端子を接続するために、外向き歯付きのロック ワッシャが備わっています。各スタッドの横に標準の接地記号があります。

次の図は、83xx ファミリー 2 U シャーシ上のボンディング箇所を示しています。



### 推奨端子

アース接続には UL 認定端子を使用する必要があります。4 mm または #8 スタッド用のクリアランスホール付きリング端子を使用できます。10-12 AWG 線には、Tyco 34853 が推奨されます。これは、#8 スタッド用の穴付き UL 認定リング端子です。

### アース線の要件

アース線は、単一故障が生じた場合に回路電流を十分に処理できるサイズであることが必要です。アース線のサイズは、回路を保護するために使用されるブレーカーの電流と同じにします。AC 回路については、「AC 電流」(P.A-15) を参照してください。DC 回路については、「DC 電流」(P.A-16) を参照してください。

露出した導体は、圧着接続を行う前に、腐食防止剤でコーティングする必要があります。接地のために使用できるのは銅線のケーブルだけです。

### DC 電源装置

DC 電源装置には、電源ごとの追加のアース接続があります。これにより、ホットスワップ可能な電源装置を電力、リターン、およびアースに接続して、安全に挿入できるようにします。アース ラグを接続する必要があります。

これは外向き歯付きのロック ワッシャがある M4 ネジです。

アース線は、回路ブレーカーに適合するサイズにする必要があります。

